

〈5/12 監視チームにおける議論のまとめ〉
2. 地震対策について
①HAW 施設及び TVF(建屋)の耐震設計について
○地盤改良工事が大規模にわたることから、本工事においては、重大事故対処設備の操作に輻輳しないことを具体的に説明すること

高放射性廃液貯蔵場(HAW)及び配管トレンチ(T21)周辺の 地盤改良工事期間における重大事故対処への配慮について

【概要】

高放射性廃液貯蔵場(HAW)及び配管トレンチ(T21)周辺の地盤改良期間においても、高放射性廃液貯蔵場(HAW)における重大事故対処(可搬型設備を用いて外部からの冷却水や電源等の供給を行う操作)が可能なように配慮した工事計画とする。その具体的な方法として、高放射性廃液貯蔵場(HAW)の周辺の地表を広範囲に掘削する際においても高放射性廃液貯蔵場(HAW)へのアクセスに支障のないよう仮設足場等、工事状況に応じて適切な措置を講じて工事を行うことについて、申請書の当該箇所に記載した。

令和2年5月25日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

③ 寸法検査 2

方 法： a. 置換コンクリートの上面深さを測定により確認する。

判 定： a. 置換コンクリートの上面深さが表-4 に示す範囲であること。

④ 外観検査

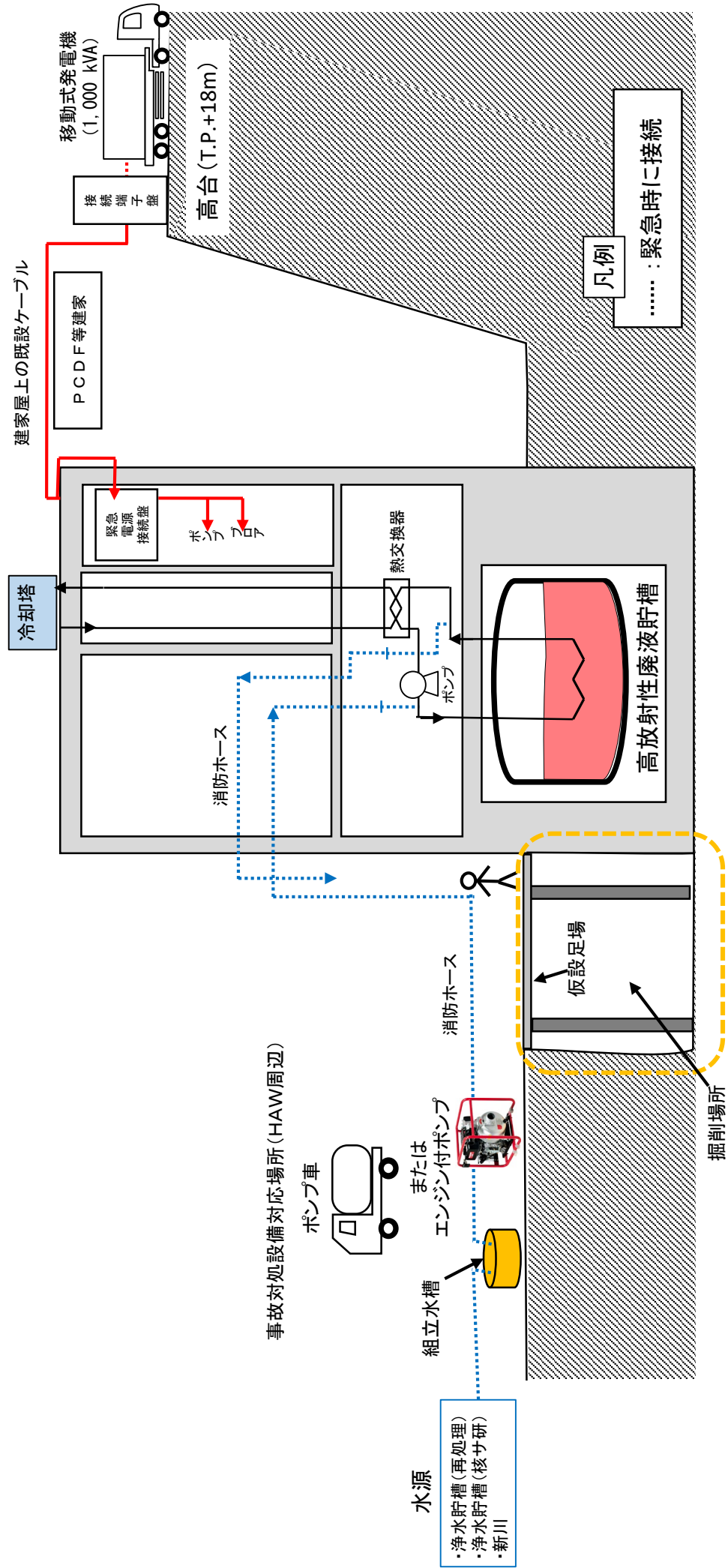
方 法： a. 置換コンクリートの範囲を目視により確認する。

判 定： a. 置換コンクリートが別図-2 に示す範囲であること。

(2) 工事上の安全対策

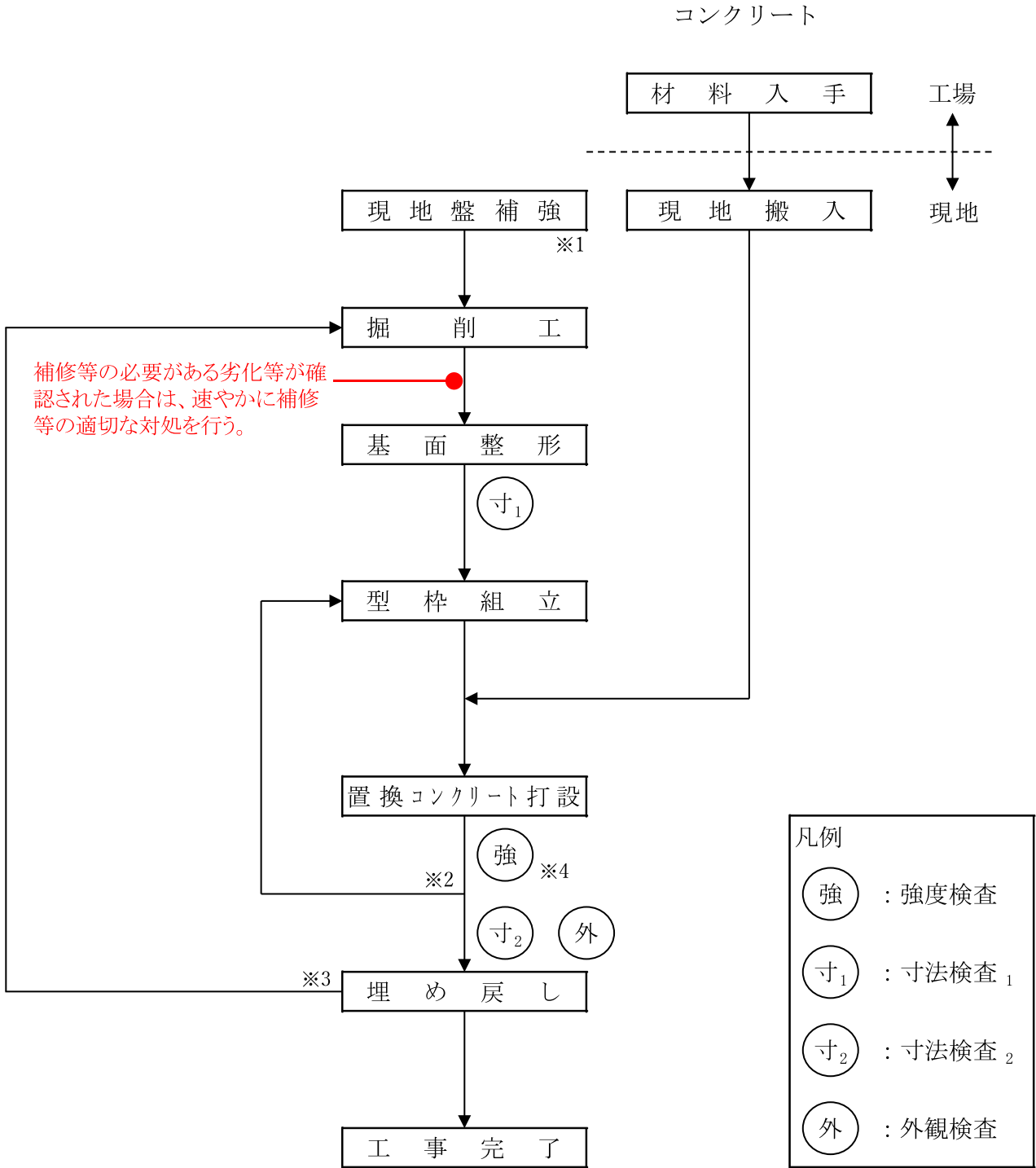
本工事に際しては、以下の注意事項に従い行う。

- ① 本工事の保安については、再処理施設保安規定に従うとともに、労働安全衛生法に従い、作業者に係る労働災害の防止に努める。
- ② 本工事においては、作業手順、装備、連絡体制等について十分に検討した上で、作業を実施する。
- ③ 本工事においては、ヘルメット及び保護手袋等の保護具を作業の内容に応じて着用し、災害防止に努める。
- ④ 本工事における火気作業時は、近傍の可燃物を除去した上で実施する。ただし、可燃物を除去できない場合は、不燃シートによる作業場所の養生等を行い、火災を防止する。
- ⑤ 本工事における高所作業時は、墜落制止用器具等の保護具を着用し、災害防止に努める。
- ⑥ 掘削を行う場合は、既設埋設物、既設構築物を図面及び現地にて確認し、既設埋設物、既設構築物の損傷防止に努める。
- ⑦ 本工事においては、工事期間中も電源、冷却水供給等の事故対処ができるように、高放射性廃液貯蔵場（HAW）へのアクセスに支障の無いよう仮設足場等、工事状況に応じて適切な措置を講じる。
- ⑧ 本工事においては、高放射性廃液貯蔵場（HAW）建家及びトレンチの躯体に対して損傷を与えないよう、監視の強化、躯体近傍での重機の制限等を要領書等に定めて工事を行う。なお、補修等の必要がある劣化等が確認された場合は、速やかに補修等の適切な対処を行う。



HAW地盤補強工事の事故対処への配慮 (イメージ図)

周辺地盤掘削時のトレンチ躯体等の確認ポイントについて



※1：ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟近傍の置換コンクリートの直下のみ実施する

※2：置換コンクリートが表-4の上面深度に達するまで繰り返す

※3：置換コンクリートの施工範囲が完了するまで繰り返す

※4：コンクリートの圧縮強度試験はトラックアジテータから採取した供試体を用いて実施する